

**2020年度 発達応援団ピュアキッズ
事業者向け 児童発達支援自己評価表**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		限られたスペースで、特性・利用児同士の相性に合わせて座席等を工夫した運動系の課題時は、もうすこしスペースが広いとよい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			現状の利用者に対して、適正です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		すべての児童に対してという視点においては、まだまだくふうが必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日清掃をして、おもちゃも定期的に消毒しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		PDCAサイクルに関しては今後の課題かと思えます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員間の情報共有をさらに強化していきたいと考えています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現状は第三者評価の実施はありません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			専属の公認心理士による、検討会議や研修を行い、支援に活かしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談時に、アセスメントシートで聞き取りしたものの普段の様子など従業員同士で共有しつつ、課題を出し合いは必要に応じて心理士を交えてケース検討をしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			聴き取りシートを作成しており、それに準じてアセスメントを行っている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		家族支援、地域視点においては、まだまだ改善の余地があると思います。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個人記録ファイルに最新の個別支援計画を綴っておき、非常勤職員でも目を通せるようにしている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案し、内容もチームで検討している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			前年度良かった活動は取り入れ得てはいるが、全く同じにならないように工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			個別は保護者のニーズ利用児の課題を中心に、集団ではライフスキルを中心に計画を設定しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングにて共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングを必ず行っています。その日あったこと、子どもたち一人一人の様子成長など共有したり、来週気を付ける点など情報の細かく共有をしています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			当日の課題の様子、自由設定時間の様子、目標に対してどうだったかなど具体的な様子を細かく書き留めておくようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度、保護者と面談をさせていただき、新たな課題や継続的に行う支援、見直す支援を確認しています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議の機会は現状ありません。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との連携の機会は現状ありません。医療的ケアが必要な子供たちが現状は利用していません。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的ケアが必要な子供たちが現状は利用していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアが必要な子供たちが現状は利用していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等との情報共有は機会が少ないです。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		学校等との情報共有は機会が少ないです。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		現在、連携はありません。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		現状、交流はありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加できるときに、進んで参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		申し送りや、メールにて情報共有するように努めています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		必要に応じてペアトレの情報提供は行いますが、支援としてはまだ向上の余地があるので、向上させていきたいです。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の面談時に説明をさせていただいています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		半年に1度、保護者と面談をさせていただき、新たな課題や継続的に行う支援、見直す支援を確認しています。その都度、目標と支援内容をお伝えしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者が気軽に相談できるように、メールや連絡ノートを活用していただきたり、必要に応じて面談も行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は、新型コロナのため茶話会の開催はできませんでした。中学生以上の保護者向けに高校卒業後の進路、生活についての講師を招き、講習会をしました。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、集団カリキュラムを配布して内容の告知をしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報は、鍵付きのロッカーでの管理等十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域住民を招き入れていることはしていない

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		運営規定で詳しくマニュアル化したものを添付して保護者と共有をしています。年に1回は必ず子供も一緒に避難訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年1回以上、子供たちも含めて避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時、その後の面談時に保護者と状況を共有して、指定の様式に記載していただいている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者からの聴き取りを参考にしながら食物アレルギーの子供に対応しています。医師の指示書はありません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎日の振り返りのミーティングで、ヒヤリハットの洗い出しを行い継続して共有するようにしている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修の機会は設けていないが、日々のミーティング等で職員同士で気になることがあれば意見を出し合うこととしている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		必要なばあいには面談を実施し、支援計画への記載をするように努めております。